

# 未来に伝えたい。まいばらの水。12選

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。このコーナーでは、「未来に伝えたい。まいばらの水」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしてきましたが、今月からは番外編として、地域と水の関わりについてお届けします。

番外編①

vol.13

## 水と育む

### 地形や地質

米原市は滋賀県の東北部に位置し、県内最高峰の伊吹山（標高1377m）や鈴鹿山脈北端の霊仙山（標高1096m）をはじめとする山々に囲まれ、総面積の約63%を占める森林に蓄えられた水が、一級河川の姉川（全長約31km、約367km<sup>2</sup>で県内最大の流域面積）や天野川（全長19km、流域面積約111km<sup>2</sup>）となって市内を流れ、琵琶湖へと注いでいます。山地が大部分を占めていますが、小さな山地の間には盆地が点在し、河川によって形成された扇状地や段丘、湖岸には三角州が広がるなどバラエティに富んだ地形です。

伊吹山とその山麓付近、霊仙山の地質は主に石灰岩で、雨水が浸透しやすく、清浄で豊かな湧水をもたらしています。これらの山々から湧出する水は硬度100mg/l前後の中硬水で、軟水が多い日



▲ 上空からの伊吹山と山麓地域



▲ 天野川河口付近

本にあつて硬水地帯と呼ばれています。

また、市の北部地域は豪雪地帯ですが、冬でも気温がプラスになることが多く、その融雪水は渇水期の水資源として重要な役割を果たしています。湖北地域では、梅雨、台風に加え、冬の雪で年3回の降水期があり、年間降水量は南部の1.7倍です。一方で年間蒸発散量は南部より少なく、水質

も南部と比較して窒素、リンなどが少ない米原の河川は、水量が豊かで、琵琶湖への良質な水の供給源といえます。



まいばらの水  
イメージキャラクター  
スイナちゃん

お問い合わせ 経済環境部 環境保全課（伊吹庁舎） ☎58-2230 ☎58-1630

受講生募集!

夏休み

自由研究講座



家庭から排出された汚水がどのようになれるのかを親子で楽しく学びませんか。

- ① ビデオとパネルによる下水処理の説明
- ② 浄化センター内の見学
- ③ 水質試験体験  
（流入水と放流水の比較）
- ④ 顕微鏡で水をきれいにする微生物の観察

日時▼8月5日（火）・6日（水）

9時30分～11時30分

\*どちらか一日（各日同じ内容）

場所▼東北部浄化センター

（彦根市松原町1550）

対象▼小学生（保護者同伴）と

その家族

各日10組程度（先着順）

費用▼無料

申込▼左記へ電話にて

（受付時間 平日9時～17時）

お問い合わせ

東北部流域下水道事務所

東北担当

☎0749-126-6634